

④北海道横断自動車道 本別～釧路

受賞機関 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

キーワード 新たな技術の導入、防災、地域の活性化、環境保全、情報発信

全建賞審査委員会の評価ポイント

3次元データを活用したICT土工の導入や新たな基礎地盤対策工の活用によるコスト縮減と生産性の向上を図るとともに、国・北海道・市町村・民間団体が緊密に連携してSNSを活用した開通までのカウントダウン等の情報発信を実施し、開通に向けた地域全体の機運醸成を図った点が評価された。

1. はじめに

北海道横断自動車道 本別～釧路は、北海道東部に位置する釧路・根室の釧根圏と札幌・帯広等の道央圏・十勝圏等を結ぶ広域ネットワークの一部を担う延長約65kmの高速自動車国道である。平成16年より新直轄方式での整備が進められ、平成21年に浦幌ICまで、平成27年に白糠ICまで、平成28年に阿寒ICまでそれぞれ開通し、令和6年12月22日に釧路西ICまで開通して全線開通となった。

2. 事業の概要

釧路・根室を含む道東地域は水産業や酪農業を基幹産業とし、釧路湿原や摩周湖等の豊富な観光資源を有する一方、広域分散型の地理条件により、移動に時間を要する課題がある。本事業は、釧根圏と道央圏・十勝圏との連絡強化を図り、大規模災害時の輸送ルート、広域観光活性化、水産品等の流通利便性向上、救急搬送の安定性や速達性の向上等を目指して整備された。

本別IC～浦幌IC間を帯広開発建設部、浦幌IC～釧路西IC間を釧路開発建設部が担当し、それぞれ事業を推進してきた。



開通後の釧路西IC付近

3. 事業の成果

本事業では、3次元データを活用したICT土工の導入により、測量から施工までの一体的な効率化を実現し、生産性の向上を図るとともに、新たな基礎地盤対策工の採用により、コスト縮減と長期的な安定性の確保を達成した。

また、国・北海道・市町村・民間団体が緊密に連携し、SNSを活用した開通までのカウントダウン等の情報発信を行うことで、地域と一体となり、開通に向けた機運の醸成に取り組んだ。

開通後は、津波浸水回避ルートの確保による防災機能の向上や釧路空港を拠点とした観光アクセスの向上により、地域の活性化に寄与している。

国土交通省 北海道開発局... R6/12/10 X
【開通まで12日!!】
#道東道 「阿寒IC～釧路西IC」が令和6年12月22日(日)15時に開通!
釧路と札幌が高速道路で直結します!
#北海道 #釧路市
#わくわくするがちな
hkd.mlit.go.jp/ks/douro_keika...

#釧路総合振興局 地域創生部地域政策課



国土交通省 北海道開発局... R6/12/18 X
【開通まで6日!!】
#道東道 「阿寒IC～釧路西IC」が令和6年12月22日(日)15時に開通!
釧路と札幌が高速道路で直結します!
#北海道 #釧路市
#わくわくするがちな
hkd.mlit.go.jp/ks/douro_keika...
#機名板取付会 さらに表示



SNSを活用した開通に向けた機運の醸成

4. おわりに

本事業区間が開通し、物流の所要時間短縮や定時性向上、救急搬送時間の短縮、観光地へのアクセス性の向上等、様々な声が寄せられている。道央圏・十勝圏だけでなく、道北・道南等とも高規格道路で結ばれることで、それぞれの圏域間の交流が活発化することが期待される。

賛助会員 岩田地崎建設(株)、(株)ドーコン、(株)田中組、地崎道路(株)、中央コンサルタンツ(株)、(株)中山組、日本道路(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、宮坂建設工業(株)、宮地エンジニアリング(株)